



世羅の未来はまかせて、世羅っ子は元気いっぱい!! 大田保育所

# 議会だより

# せら



世羅町

No.10

平成19年5月15日発行

## ■今月の主な記事

- 議会審議 ..... 2P~4P
- 陳情審査・発議 ..... 5P
- 委員会ハイライト ..... 6P~7P
- 一般質問(保育所再編に6議員登壇) 8P~15P
- グループ訪問 ..... 16P

主な記事

# 道路改良工事に待った—

## 付帯決議をつけて14：7賛成多数で可決

### 付帯決議

- 1 財政再建が急務となっているが、財源をはじめ収入増を常に心がけ、不要な支出を避けることは勿論、補助金等、適正な見直しを検討されたい。
- 2 住民自治の振興について、自治組織の支援はもとより、新規の道づくり事業等は住民自治が真に要望に沿った方向で執行すること。
- 3 執行にあたっては、住民の福祉、暮らし、サービスの後退を招かないよう、教育を含め、特に少子化対策に万全をきされたい。
- 4 下水道事業の見直しを早急に検討すること。
- 5 審議の過程において指摘した事項については、今後の行政執行に反映されたい。

・総事業費は15億6千9百万円、今年度事業費は7億2千6百万円で山福田、大見、東、伊尾、中央、宇津戸の6地区が工事決定。H20年度においては、残りの7地区の工事を行い、H21年度より町内すべての地区で供用開始となる。加入金2万1千円が必要だが加入促進期間中は無料となる。なお、月額使用料は、基本チャンネルで1千50円。

### ケーブルテレビ事業 平成19年度工事区域



### 平成20年度工事区域



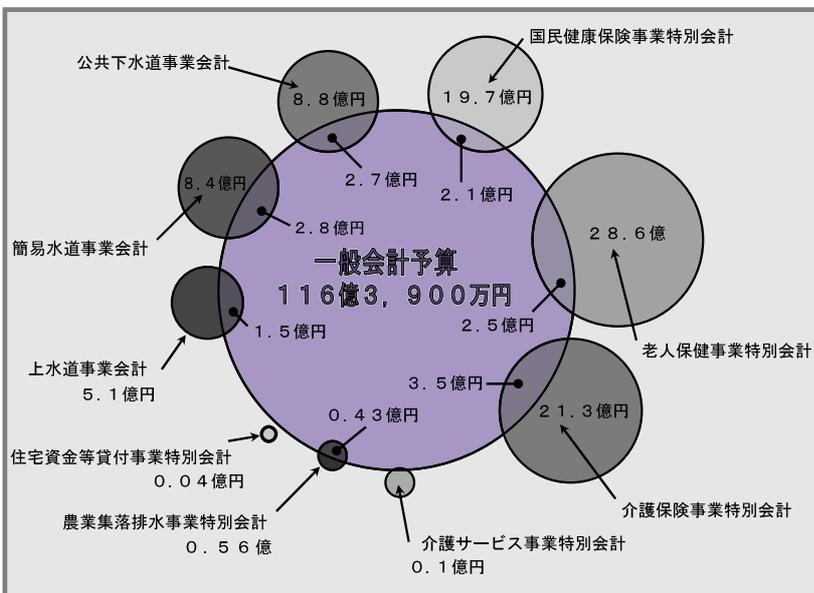
**A** 国の補助率(1/3)の關係で、2年にした方が安くできること。世羅でも2008年から、地上波デジタル放送が始まるため、少しでも早くサービスを提供したい。

**Q** なぜ3年計画の事業を2年にしたのか。

### 平成19年度予算関連図

グラフの見方

- 予算名、予算額、大きさは予算額に比例
- 重なった部分は、一般会計からの繰出金



平成19年度 一般会計116億3千900万円決まる。

財政緊縮の中

# CATV事業 前倒し!

道路橋りょう費 2億4千万円削減

H18年度に比べ、1億3千300万円の増額予算となり、  
税制改正により「所得譲与税の廃止、地方交付税の削減」で町税が増えるが  
基金4億9千万円を使つての厳しい予算成立となる。



デイサービス 大切な作業の送迎

介護サービス事業特  
別会計予算991万  
円

**Q** 在宅サービスに  
対する考え方は。

**A** 介護サービス利  
用費用、施設利  
用費用が全体予算の7  
割を占める。今後は、  
在宅サービスの充実に  
つとめる。

パスポートを発行

**Q** 旅券交付窓口端  
末保守の内容は。

**A** 県からの権限移  
譲で、6月4日  
より、世羅町の窓口で  
も旅券発行を行う。

使用料が上がる

7月から使用時間が一  
部変更され、新たに冷暖  
房使用料が必要になる。  
リハビリプールの使用料  
は1600円加算(無料の  
方は1600円)される。

**Q** 料金値上げの理  
由。対象者。影  
響額は。

**A** 運動指導員を配  
置するため。  
延べ2250人の利  
用者があり、内600  
人程度が新たに160  
円必要となる。  
光熱費として3万3  
千円程度、使用料とし  
て26万円程度予定。

ふるさと道作り事業

**Q** 基本的な考え方  
と内容は。

**A** 町道を住民自ら  
が整備する事  
業。原材料・重機借り  
上げ料を支給、設計は  
町で行う。

国民健康保険事業特  
別会計予算19億71  
09万5千円

**Q** 国保税等との考  
え方、基金繰入  
額、繰入れ後の基金残  
高は。

**A** 保険税率の決定  
に当たり、決算  
見込みを配慮してゆき  
たい。9795万1千  
円を繰り入れている。  
残高は2億3342万  
4千円。



議案43本審議

●報酬等を削減  
町長の報酬をはじめ  
職員の給与を、引き続  
き昨年と同様削減し  
た。

●八田原グリーンパー  
クの指定管理者決ま  
る。

4月から、福山市の  
内田鉄工建設(株)に管  
理してもらうこととな  
った。

●町が砕石業者を認定  
する。

4月から県に代わっ  
て世羅町が砕石業者の  
認定事務を行う。

**Q** 現在、町内の該  
当業者は何社  
か。

**A** 2業者で、認可  
期間8年。届け  
出のない砕石業者は県  
が指導し、町が引継ぐ。

# 3億181万円減額 (12：9賛成多数で可決)



減額の主なもの	
項目	金額
障害者施設支援扶助費	13,000,000
居宅生活支援扶助費	7,800,000
生活保護法による扶助費	56,373,000
簡易水道事業会社への繰出金	3,320,000
工事請負費（高速道関連）	12,385,000
常備消防世羅西出張所建設負担金	19,350,000
簡易水道事業特別会計へ繰出金	14,150,000
上水道事業会計へ繰出金	33,200,000

**当初予算**  
115億6千万円

●問題あり  
自治振興補助金の減額

**Q** 自治振興補助金71万2千円、地域自治活動助成金65万8千円の減額は問題では。

**A** 自治振興補助金、地域自治活動助成金は大組織、公民館単位の組織への補助金、助成金で、13地域の中で甲山公民館エリアについては、今、現在、地域の皆さんと公民館、企画情報課を中心に設立に向けて取り組んでいる。その分71万2千円を不用額として減額した。活動助成金は、先の理由と戸数などの増減による補正。

●求む  
住民サービスの適切対応

**Q** 生活保護扶助費の5千600万円の減額は福祉事務所の設置などの中での見込み違いか。申請などの適切な対応が必要である。

**A** 福祉事務所の設置にあたり国県が過去3年の実績をもとに、当初予算の計上をした。15・16年がピークで保護世帯100世帯であったが、現在は66世帯で大幅に本町は減っている。亡くなられたり介護施設に入所されたり必要がなくなるケースも多い。当然新規に必要なかたには十分相談に応じ、早めに結果をだし、生活の自立支援につながるように今後も取り組む。

●どうなる  
特別地方交付税

**Q** 特別地方交付税は当初5億5千万円であったが25%の減額か。

**A** 前年度比が1割超を減じた県の指導もあり、1億4千万円減とし4億1千万円とした。7億5千万円の限度の中で交付となる。



保健センターで対応中

●消防団退職手当で  
徹底論戦

**Q** 消防団員の自主退職者のなかに飲酒運転の事実があった後に、退職された団員また住民から聞いた。昨今、飲酒運転について厳しく取り組む中で報償金を払うのは町民の理解が得られないのでは。

**A** 退職報償金については、世羅町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の中へ退職報償金支給の制限の欄が第8条にある。その1から5までの制限に該当するかしないかであり、自主退職の申し出の場合1から5に該当しないとして事務的に手続きを進めている。

# 皆さんの陳情と請願 このように決めました

## ■採択となったもの

- ◎教育関係予算の確保を。  
広島県教育会世羅支部 会長 安清雪子
- ◎安心・安全な公務・公共サービス拡充を。  
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進
- ◎改憲手続き法案の廃案を求める意見書提出を。  
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進
- ◎地域に安全でゆきとどいた医療・看護を確保するために医師・看護職員の大幅増員を求める。  
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進



舗装施工の陳情がされている、町道奈良之木中原線

- 合 議長 尾野 進
- ◎中原公園横の町道奈良之木中原線の舗装施工を。  
中原振興区 区長 池本昭夫
- ◎「最低賃金改善の意見書」採択を求める要望。  
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

## 定を求める要請。

- 広島県労働組合総連合 議長 尾野 進
- ◎労働法制改悪の中止を求める意見書採択の要望。  
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進
- ◎公立保育所存続を求める要望。  
世羅郡保育所保護者会連合会 代表 岡田智美
- ◎津田保育所の存続に関する陳情。  
津名地区振興協議会 会長 前原春夫  
津田保育所保護者会 会長 増田 誠

- 合 議長 尾野 進
- ◎「不採択となったもの」
- ◎「入札業務の要望について」。

## ■継続となったもの

- ◎「公契約条例」の制

## 議員発議

### ●議会は5件の意見書を賛成多数で、国（内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、各担当大臣）に意見書を提出、是正を求める。

- ①安心・安全な公務・公共サービス拡大を求めるもの。
- ②日本国憲法の改正は民主主義の理念から容認できない。是正を求めるもの。
- ③地域医療の看護を確保のため、医師・看護職員の大幅増員を求めるもの。
- ④射撃場の鉛汚染調査・指導強化を求めるもの。
- ⑤WTO農業交渉（世界貿易交渉）は我が国の「食」と「農」の根幹を揺るがすため、持続的発展できるように求めるもの。

### ●議員報酬を削減

昨年に引き続き議員報酬を次のとおり削減した。

・議長	1万1200円
・副議長	6900円
・常任・運営委員長	6700円
・常任・運営副委員長	4300円
・議員	4200円



ガイドラインの指導強化を求める 甲山国際射撃場

## 議会に公開質問状 出される

提出者・世羅町中立の会  
下久保徹巳様を代表とする地域の5名の方

からのもので、議会は回答を次の場所に掲示する予定にしています。

・本庁・支所前の掲示板。

# 委員会ハイライト

## 県に報告

### 幼稚園誘致本格化ならず

総務文教常任委員会

小学校適正配置・適正規模検討委員会に何を求める

①適正規模について基本的な考え方と適正規模の現実のための具体的方策②適正配置のための具体策③通学区域制度についての基本的な考え方の3点で特色ある学校づくり、充実した教育環境の提供、学校規模、地域との関わりなどの諮問を求めた。

**Q** 答申を受けてどうするのか。

**A** 答申をもとに保護者や地域住民との説明会を開き、その後の具体策を見出したい。保護者や地域住民に十分説明し理解を得ながら進めたい。H

19年度には、意見を聞き方向性を出したい。

**Q** 通学バスは3kmで利用できるのか。

**A** 小学校は、4km以上が遠距離通学となっている。せらにし小学校は当時の取り決めで3kmとなっている。統合して5年間は国から補助が出る。H22年度までに条件整備が必要である。

### 幼稚園誘致のその後

**Q** 県の要請があった2幼稚園の本化の調整はどうか。

**A** 世羅幼稚園に町が推進している幼稚園誘致の理解を得ることが出来なかった。

た。これ以上の調整は、むずかしいと県に報告することとなった。なお、恵泉学園との再協定は2月28日におこなった。

## 保育所再編2次試案出る。保育所の存続、地域の願いをどう結ぶか

厚生常任委員会

### 甲山国際射撃場鉛問題

川尻地区で営業している射撃場の鉛問題の現状は、沈殿池などの設置で規制値内に収まっているが、地域住民の不安は解消されていない。国のガイドライ

ンも示された今、遵守するように、全員賛成で国に意見書を提出することにした。

**小型合併浄化槽の設置状況・今後の取り組み**

H18年度は95基、来年度も同数計画し、公共水域の水質改善に努力したい。設置後の国の検査も法制化され厳しくなる。

**保育行政はどうするのか**

行政は説明会を終え、基本的には行財政改革を堅持する事で地域の了解を得たとして、第2次試案を提出した。今後この2次試案に沿って調査するが、地域によって、保育所を残せという本流がある。この願いを重く受けとめ、今後調査することとする。

**Q** 民営化に移行する仕組みが法をクリアすることが条件だが、整理できているのか。

**A** 移行期間を確保しても移行段階での整理が必要となる。条例改正後、民営化の応募要件にもなり得るので財源・すり合わせ期間を検討したい。

**Q** 給食は自校式が必要なのか。

**A** 施設内で調理して提供するのが大前提である。民間移行を前提にした施設については民間で、公設で思っている。栄養士については基本的には民間からの派遣を考えている。

**Q** 子育て支援センターの設置はどう考えているのか。

**A** 今のところ小国・甲山で試行的に対応してゆきたい。



元気いっぱい 退所式で

## いよいよ始まる品目横断的経営 活性化になるか

### 産業建設常任委員会

#### 上水道加圧ポンプ 築造工事（現地調査）

山田川ダム完成にと  
もない川角橋付近から  
取水し、さかえ浄水場  
で飲み水としたものを  
再び山田川ダム下流域  
に配水するための3つ  
の施設工事を調査し  
た。

●調整水槽、取水地点  
の水を一旦、調整水槽  
(45㎡) 赤屋地区に貯  
める施設。  
●加圧ポンプ所、さか  
え浄水場からの飲み水  
を第4配水池に上げる  
施設（東上原）。  
●第4配水池、さかえ  
浄水場からの水を貯水  
する施設（東上原・容  
量150㎡400人が  
使用して12時間分の  
量）。

### 農業公園・県民公園は

H18年来園予想は、  
H19年1月末で34万5  
千人と、当初見込みを  
大きく上回った。県民  
公園は、遊具を持参し  
ての再来園者が増加し  
ている。

### どうなる農業振興

H19年度より始まる  
農地・水・環境保全向  
上対策への取り組みは  
9地区で行われ、地域  
住民・小学校PTAなど  
幅広い取り組みであ  
る。品目横断的経営安  
定対策は、従来品目ご  
と一律全農家対象に行  
われていたが、今後は  
担い手（認定農業者3  
ha以上・集落営農組織

15・2ha以上）に限定  
した対策となってい  
る。（この対策で、麦  
11件32ha・大豆20件1  
10haが取り組まれる  
予定）

## 行財政改革特別委員会

### 行財政改革急ピッチ

### 地域協働はリーダー研修から



H18年度中の行財政  
改革推進プランの進行  
状況が報告された。  
①指定管理者制度を活  
用し、8施設を民間委  
託。

②負担金・補助金につ  
いてはH19年まで今後  
抜本的に見直す。  
③せらまちタクシーの  
導入により経費削減。  
④事務処理については  
変則勤務など導入。  
⑤町・県民税の前納報  
奨金H19年より廃止。  
⑥地域の使用に限定さ  
れる施設（集会所など）  
6施設を地域譲渡。  
⑦地域協働の取り組み  
は、リーダー育成研修  
を開催。  
⑧定員管理は、11名の  
純減。通勤手当ては1  
km29円から20円に。  
⑨保育所再編整備計画  
の策定にむけ公民館単  
位で試案をもとに住民  
説明会を開催した。

## 後年度負担増必至 見直し案強く求める

### 公共下水道事業調査特別委員会

浄化センター・国道  
432号を中心とした  
下水管幹路埋設・小世  
良天神鼻を中心として  
支線埋設の工事が進め  
られている。

を進めることは問題で  
ある。後年度負担の増  
大を避けるため、早期  
に計画の見直しを求め  
た。  
町は都市計画の見直  
しも含め検討すること  
になった。



見直しを求めている公共下水道事業 処理場築造中

Q 幼稚園誘致と保育所再編整備を問う

A 可能なかぎり、民営化を進める



西田美喜男議員

- 西田 ①幼稚園の公募はしないのか。
- ②22年間の無償貸与のメリットは。
- ③旧役場跡地より豊かな土地に誘致は。
- ④幼稚園に行く幼児が少ないときの考えは。
- ⑤保育所再編整備による財政効果は。
- ⑥保育所の民営化に対する考えは。
- ⑦4千余名の署名要望書に対する考えは。

■町長 ①民設民営方式の教育施設の誘致は、教育理念や運営方針に視点を置いた選定が必要であり、公募による事業者の選定は現実的でないと考える。



この子たちに未来を、ハイパチリ!

- ②将来へ向け、安定した公有地管理や幼稚園誘致による「費用対効果」を検討した上で無償貸与とした。
- ③町の財政状況を考えて、財政確保の検討の余地がない。
- ④希望される保育所入所が可能となるよう、保育所定員を確保する。
- ⑤人件費1億4千8百万円、物件費1千百万円、歳入減3百万円、差し引き1億5千6百万円と試算している。
- ⑥保育所運営費の国県負担金制度の廃止により、一般財源への圧迫要因が拡大し、各自治体において保育所民営化を加速させている。

本町も、可能な限り民営化を進めざるを得ないと考えている。

⑦町民の皆様から貴重なご意見をいただいたと受けとめ、町の考え方や取り組みが十分に伝わっていないか、検討する。

一般質問

Q 住民の意見（保育所再編）どのように反映するのか

A 誘致の考えで環境整備に努める



永田英則議員

- 永田 保育所再編整備計画を策定し試案を作り住民説明会をされて住民の意見要望をどのように反映するのか。

■町長 説明会のまとめは町広報により報告する。行政各般にわたる意見とともに町を維持するための取り組みは、また、留學事業で農村の意義を発信する考えは。

持するための叱咤激励をいただいた。今後は保育所整備、幼稚園誘致の考え方の軸足を崩すことなく要望を真摯に受けとめ幼児教育保育の環境整備に努める。

Q 食育推進は食育充実を図る

●永田 食生活の乱れは健康問題だけでなくキレやすい子供をつくり教育現場の荒廃や少年犯罪につながる。行政の食育推進への取り組みは。また、留學事業で農村の意義を発信する考えは。

■町長 学校・家庭・地域と連携して食文化を大切に、食育充実を図るため、7機関による食育推進会議を発足し食育のとりまとめをしている。山村留學については

形態、財政的支援など調査研究が必要。



保育士の見守る中で、すくすくと育つ園児

Q 未利用公有財産の活用方法は有効に活用できるように取り組む

●永田 国・県の財産の三和高校・尾三地域事務所世羅分庁舎・法務局など、効率性を一層重視した資産活用を総合的に行うための対応策は。

■町長 国・県の未利用財産で役場周辺の土地建物については役場庁舎と一体的に利用することが可能ならば、サービス利便性が向上すると考えている。関係機関と協議し、有効活用したい。

Q 幼稚園は公募で用地は有償で

白紙見直しはあり得ない



豊田 勲議員

Q 一般競争入札を導入せよ  
A H20年度実施で準備する

●豊田 世羅町の入札率は、平均91%以上と高い。国は1千万円以上の工事に一般競争入札を指導しているが、入札率が高い本町に早期導入を求めたい。

●豊田 ①幼児教育の施設を「私が決めた」と独断が良いのか。②1億もする用地をH22年無償はだめ。③認定子ども園は保育の充実になるのか。④保育所統廃合を多数の住民は納得していないが。

■町長 ①「公募せよ」の声は昨年6月からで、白紙はあり得ない。②賛否両論あるが、一番有利な方法だ。③併設型を想定、大田・甲山・宇津戸の3歳児未満と乳児保育の充実になる。④行財政改革のスピード化を推進したい。



処理場築造中

■町長 競争性・透明性を高めるために、有効。H20年度より「入札・契約の電子化」に伴い、地域産業の育成に配慮しつつ、一般競争入札導入を検討したい。

# ズバリ 町政を

## 保育所再編に3議員 財政再建 厳しく

Q 下水道工事など規模縮小を

A 財政再建が第一と認識

●豊田 下水道工事業や、大規模で多額な投資を要するものなどは規模縮小・凍結し福祉・教育など大事にし

ながら住民本位の行財政改革こそ進めるべきだ。■町長 財政改革が第一で「ゆるまず、ひるまず、しりぞかず」と不退転の決意で進めた

Q ケイセン学園と世羅幼稚園の認可状況は

A 町は関知しない



徳光義昭議員

●徳光 現在、県には2者の認可要請が出されている。県による一本化は進展していない

が。①町で2者の一本化を調整すべきでは。②一本化の調整は選定委員会を設置し選定を。③町内に2者の認可は可能か。

Q 「公募で幼稚園誘致を」の要望書が提出されているが

教育関係は公募になじまない

●徳光 今回町民グループによる要望書が提出されたが、①業者選定は公募し選定委員会を設置すること。②旧庁舎跡地は売却か有償貸与に。

■町長 ①教育関係は一般の事業と異なり、公募して競争するのはなじまない。②無償貸与とするのが将来への町有地として確保や、諸権利、財政効果の問題などがあり、無償貸与がベターである。

Q 大田保育所の存続は

A 再配置で存続

●徳光 大田保育所の存続はあるのか。

■町長 今のところ大田・甲山・宇津戸地区は、大田保育所・甲山保育所施設の2ヶ所の保育所を再配置する考えである。保育所は可能な限り民営化し、世羅町保育所条例を改正後民営化の具体策については検討してゆく。



Q

起債残高と今後の財政は

A

実質公債費比率を下げる



矢山 武議員

●矢山 過疎債など借金の残高を下げる必要がある。水道や下水道の整備は、きびしい財政の中で、抑えて、利子と返済金を、毎年10億円位引下げるべきではないか。

■町長 過疎債はH18年度末で60億円の残高見込みで3割が公債費に計算される。簡水、上下水道の整備は見直す。町づくり基金は1億4千万円の償還がH20年から必要。早期に実質公債比率をさげる。



医療の要 中央病院

Q

後期高齢者医療と負担は

A

他の保険と均衡をとる

●矢山 75才以上のお年寄りが医療保険料が

必要となるが、負担の軽減が必要ではないか。

■町長 H20年4月から、医療費の増大抑制し、公費で5割、現代世代から4割、高齢者から1割とした。

応益50%、応能50%で保険料が11月頃決まる。他の保険と均衡のとれたものとなる。

Q 保育所の再編と民営化は

A 合意形成をはかる

●矢山 人件費が安いからと公的責任を放棄することや、廃止される地区の意見は。

■町長 各地域で、説明会を行い、行政改革の堅持が期待されている。廃止される地区への取り組みはサービスの充実を図りたい。補助金は交付税に変更され、目に見える形の算入はない。

Q

未満児保育はどうなる

A

子どもの目線での支援策を



奥田正和議員

●奥田 若い世代では就労せねば生活が成り立たない。身近な場所へ安心して預けられるなら若者定住につながると思うが。

■町長 子育ての環境づくりや再配置の3歳未満児の保育の充実が必要である。公的には財政的に困難と考えているが、NPOや地域の子育てサークルの取り組みに対し、側面的な支援をしてゆきたい。



Q 行政プランが  
あいまいなのは

A 不転換の決意で

●奥田 地域懇談会での口調は町民に理解を得るものではない。財政悪化のポイントを小出し説明せず残任期の責任を示すべきだ。

■町長 改革プランの見直しや進捗を明確にし、全体像と必要性をわかりやすく示したい。スピードアップを願うが、民主主義の中で皆様の洗礼を受けながら例外なく改革を実現してゆく。

●奥田 各種団体への負担金・補助金が財政を圧迫していると聞く。住民自治への補助も基本の戸数に納得いかない面がある。住民の不満の声も聞き、活動の指導育成に力を注ぐべきだ。

Q 補助金のあり方を再考すべき

A H19年中に見直す

■町長 現時点は住民基本台帳で算出しているが、特に周辺地域において少子高齢化と人口減少で活性が危惧されている。有効な助成のあり方を探ってゆく。

Q

企業誘致の取り組みは

A

環境づくりに努力



末盛 守議員

●末盛 町の政策の柱は定住対策、企業誘致もある。①誘致構想は。②町企業誘致促進本部は法律の専門、経済界の委員も必要では。③町内外企業の動向調査と町内企業訪問は。④企業誘致の環境づくりは。

■町長 ①持続発展のため企業誘致は極めて有効手段で道路網や情報通信などの整備促進してゆく。企業情報把握、アプローチを行っている。②内部調査を充分おこなう必要性から町職員での構成とした。③企業動向調査は行っている。企業訪問

は考えてゆきたい。④本町の特性や有効基盤活用をした環境整備を進める。



仲良く登下校

Q

子どもたちを見守る地域づくりは

A

安心・安全が確保できる取り組みで

●末盛 全国で今、痛ましい事件が後を絶たない。①地域の子どもを守るための取り組みをどうするのか。②犯罪から身を守る意識づくりはどうか。

■教育長 ①策定中の町生涯学習推進計画の中に、地域の教育力向上のため「地域のおじ



屋外で楽しく遊ぶ園児

さん、おばさん」運動を計画し取り組む。②毎月11日の学校安全の日、下校時での安全指導、防犯ブザーの確認に警察署と連携して、防犯教室を計画的に実施して意識づくりに努めている。子どもの意識づくりは命を守ることを第一義に考え取り組んでいる。

Q

これからの都市計画をどう考える

A

社会情勢の変化に合わせて見直す



松浦敬潤議員

●松浦 地方自治体に対する税制の見直しが行われ、合併当初の計画は何度も変更された。また社会情勢も変化し、県の示した推計によると都市計画区域内人口はH17年の約7千人をピークにH32年には約4千人になるとしている。にもかかわらずH2年に指定した都市計画は変更されていないのは問題だ。①区域内の農業振興地域除外地区の農業支援策は。②商業、工業の支援策は。③人口が半減しても公共下水道事業の見直しはしないのか。

■町長 ①今後、農業の近代化を推進することが妥当ではないと認められる農用地などであることから、国、県の農業振興策は対象外であるが、町としては一定の条件を満たした農業者に支援をしてゆきたい。②中小企業金

融運営事業の基金造成とその利子補給を行うことにより、業者の自助努力をサポートしてゆきたい。③認可変更において人口推計を考慮している。今後の適正な施設規模を見極める必要がある。社会情勢の変化に合わせて、そのつど計画を見直し、無駄な施設を建設しないよう段階的に整備する必要があると考える。



産業の活性化を期待する世羅（今高野より）

Q 農地の維持にどう取り組む

A 機械作業が可能な農地は担い手に集積



田坂 進議員

●田坂 緑豊かな世羅台地、農業を基盤とする世羅町、しかし少子・高齢化の大きな波の中で、構造改善事業にも取り組めず、中間直接支払制度も取り組めない地域も少なからず存在している。地域調査機能を失った集落に対して守りつづけられる農地、山へ返す農地区分けをする必要があると思うが町長の考えは。また農地所有者が相続によって細分化・広域化して耕作放棄となっている農地が散見されるがこの件については。

■町長 本町の農地は

草の省力化、牛の飼育管理の省力化・低コスト化、猪被害の防止など様々な効果が期待できる。

10年間で8%減少、また耕作放棄地は、2倍以上の266ha増加しており、今後この傾向は続くと考えられる。機械作業が可能な農地は担い手への集積により有効活用を図りたい。一方担い手の確保が容易でない場合の対応策の一つとして、和牛繁殖牛の水田放牧を進めている。圃場の除

不在地主の耕作放棄地は、土地所有者・集落、また農業委員会などの関係機関の協力を得て調整する中で『担い手』などに集積し有効利用を図りたい。



荒廃地どうする

Q なぜ、どうして22年間もただなのか

A 使用貸借の解約が可能



岡田 武士議員

●岡田 ①22年間無償貸与のメリットおよびデメリットは。②園舎の設計は。③認定ごども園の料金は現在と変化はないのか。④企業誘致条例の設置が必要

Q 通所支援事業はどうなるのか

A 「のてっく」により運営

●岡田 H19年3月で甲山会が通所支援事業から撤退するが。



では。

■町長 ①メリットは公用地として将来にわたり保全できる。デメリットは、用地の貸付収入が無いこと。②町は関与することではない。③町が審査し町が定める保育料の水準に合わせる。④特段な予算執行や現行条例に根拠のない限り必要ない。

■町長 甲山保健福祉センター内のデイサービス部門は、今後株式会社「のとてっく」により運営。4月からもデイサービス事業は円滑に運営される予定。

Q 職員の駐車場の有料化は

A 通勤手当カットで対応



いつまでも元気で（デイサービス事業所で）

●岡田 職員の駐車場の有料化の考えは。また通勤手当の支給職員数と金額は。

■町長 現在職員の通勤手当カットで対応している。支給者は188名。177万9千円だ。

Q 住民自治のあるべき姿とは

A 行政と住民が協力し合える体制



高本正 議員

●高本 住民と協働のまちづくりを基本方針で進めている住民自治組織のあるべき姿とは。

■町長 地方自治の確立のためには、住民自治の推進が必要不可欠であり、町と住民自治組織との関係も対等・協力の関係である。町と住民が協力し合いながら、地域課題の解決や、地域づくりができる体制を目指す。

Q 森を再生する決意は

A 景観整備を兼ねた間伐を行う

●高本 新しく森づくりり県民税が導入され、全面積の約70%が山林である世羅町の林業をとりまく状況は非常に厳しいが、森を再生する振興策は。

伐等をし、新税導入の趣向に沿った活用を図る。

■町長 多くの観光客が通行するフルーツロード、ふれあいロードなどを中心に町道両サイドの山林を帯状に間



森の再生なるか



Q 気になる安全安心のまちづくり

A 未通話エリアの解消に働きかける

●高本 多くの入り込み客があるフルーツロードやふれあいロード、集客場所等で、携帯電話が圏外になる所が多くある。交通事故などの発生した時、大変な事態も想定される。番号ポータビリティ制度は民間の事業だが安全安心のまちづくりは。

■町長 昨年10月スタートした制度で、各社の競争激化・通話エリアが拡張されている。町も関係機関へ働きかけたい。



Q 財政のたしかな状況をわかりやすい方法で公開せよ

A 数値をグラフ化公開する



小川信晃 議員

●小川 過去の反省は、一言も言わないで

行政改革を実施しなければ財政破綻をきたすと一方的に強硬に行政は言う。今迄どれだけ財政状況を公開してきたか、早急にわかりやすい方法で連結した状況を公開し、財政破綻

Q これまで持続可能な自治体になれるのか

A 人事評価制度で成果を能力発揮

●小川 住民自治を求める今、どんな小さな事業であっても、住民と共に考え、より多くの意見を行政と住民が交換し、その結果、住民の協力意欲がわかない限り、いくら太鼓を叩いても効果はないし苦情の種になる。行政の組織に問題がある。課長の位置づけ等、現状認識でよいと思っているのか。

にならない数字がいくらなのか示し、健全度をチェックできる体制にすべきだがやれるのか。

■町長 連結決算の公表は、今後は義務づけられると思うが、企業会計を含め、数値のグラフ化などで公開の回数を増やし、町民の皆様に情報を開示してゆきたい。

■町長 住民の理解と協力で少ない予算で大きな効果をあげることが重要。理想とする職員を育成するため、人事評価制度をつくり、H19年度で管理職へ移行、H20年度には一般職員への試行、管理職員へは本格導入、H21年には一般職員を含め人事評価制度の下で民間企業なみに成果主義の中で働く事となる。



企業誘致大成功 頑張っている日本農園



中村幸雄議員

**Q** 企業誘致条件の制定の考えは

**A** 考えていない

●中村 企業の誘致を推進することにより、産業の活性化、雇用の促進などによる地域経済の振興を図り、活力と魅力に満ちた行政運営の実現に資することが期待できると思うが。

■町長 企業誘致などに関連する条例として

は、町企業立地奨励条例や固定資産税の課税免除に関する条例、新規就農者及び担い手農業者育成特別措置条例などにより措置しているところであり、企業誘致促進本部を設置し対策を講じているため、新たに制定はしない。

**Q** 住民提案型支援事業は

**A** 新年度は見送る

●中村 地域がそれぞれ独自の特色あるまちづくりを構築するためには、住民と行政が相互に知恵を創出し、取り組んでゆく必要があるが、住民からの、まちづくりに対する提案についての支援事業への取り組みは。

■町長 広報せらなどにおいて募集し、2名から4件の提案があったが、内容を精査した結果、この提案は、今後、町の施策に反映はしたいが、内容が町民の自主的な活動にそぐわないと思われるので、H19年度での支援制度の創設は見送る。



世羅高原農場

**Q** 『駅伝の里せら』再生への取り組みは

**A** 長距離選手のレベル向上に努める



玉谷 隆議員

●玉谷 昨年の暮れ京都市で行われた全国高等学校駅伝大会に県代表として世羅高校陸上部がアベック出場を果たし、男子の部では32年ぶりとなる全国制覇を成し遂げ町民に大きな感動と大きな夢、大きな力を与え同時に『駅伝の里せら』の名を県内外に知らしめてくれた。しかし、残念なことは、タスキをつないだ7人の選手の中に地元出身者が一人としていなかった事である。『駅伝の里』の原点は世羅町である。優勝の感激を「よかった、よかった」の感動だけ



優勝パレード

で終わらせるのではなく、これを機に底力のある『駅伝の里』づくりを考え、次の世代につないでゆくことが大事と考えるが。

■教育長 小中学校の児童生徒の体力づくりを力を入れており、文部科学省の『子どもの体力・運動能力』を測る「新体力テスト」を毎年実施し、「持久走」においては、小中学校

とも全国平均を上回っている。今後は世羅郡陸上競技協会などと連携し、中学生の長距離走への関心を高め長距離選手のレベル向上に、トレーニング方法の指導、選拔選手を先進校の合宿へ参加させるなど『駅伝の里せら』の名にふさわしいスポーツと健康づくりを推進する町づくりに積極的に取り組む。



子どもたちの体力は

生活習慣の徹底



福田 豪議員

●福田 子どもの体力の低下が懸念されるが、現状はどうなのか。仮に低下傾向にあるとすればそれは将来にどんな課題を残すことになるのか。さらにその対応はどうしているのか。

■教育長 S60年頃から、全国的にも低下傾向にある。本町でも、体力調査の結果は低下傾向にあるが、全国平均は上回っている。体力の低下は心身の健康に不安を与える恐れもあり、社会全体の活力が失われることも心配される。対策としては規則正しい生活習慣の徹底と、運動の習慣付けに取り組んでいる。

世羅に「夢」を

自然観察園を自然史博物館に

●福田 自然豊かな本町に、自然史博物館の誘致は考えられないか。

■教育長 既存施設の活用を優先に検討すべき。大田庄歴史館収蔵の標本の展示の充

実、そしてせら夢公園に整備される自然観察園の利用。さらに、自然の恵みを町民全体で保全・保護することで、町全体の環境のありようが、自然史博物館になると考える。



人気を呼ぶシャボン玉製造機 1周年を迎えた県民公園

金利上昇の影響は

今のところ影響はない

●福田 日銀は2月21日、金利の誘導目標を引きあげたが、町への影響は。

■町長 起債の約70%は合併前の固定金利であり、今回は影響されない。合併後は5年見直しの契約になっており、H21年以降に影響がでてくる。借入3年後に条件変更できるところになっており、金利動向を捉え、影響を最小限におさえたい。

公の施設の配置は

具体化を検討中



仙光保喜議員

●仙光 行財政改革プランで「H18年度で行政組織再編計画を策定し、それに基づき公の施設の廃止統合を行う」とあり、図書館の再編整備や尾三地域事務所世羅分庁舎について広島県と協議し、利用の有無を決定することになっている。聞くところによると、世羅町保健福祉センターが図書館になるといふことだが、行政サービスを受ける立場の町民にとっては大変重要な問題であると思う。

行政組織再編計画はどのようなものか、公の施設の配置はどう

なるのか。また、町長は「支所に保育所を置くことも考えられる」との発言、将来的に支所のあり方をどのように、考えるのか。

■町長 行政組織は、住民の利便性の確保と事務の効率化を図る観点から、可能な限り本庁舎付近に集積する。また、それによって遊休となる施設を活用

し、図書館など配置する。現在職員内部で「あるべき姿」を検討、具体化しているところだ。前提条件となる、尾三地域事務所世羅分庁舎の取得活用についての協議がまだ整わない状況だ。確定した上で全体の再編方針を固めたい。



世羅町保健福祉センター

# グループ 訪 問

## おかげさまで「せら夢公園」一周年

### 天下第一品の地域ブランドで勝負



施設長 馬場孝則さん

合併後、世羅町のシンボル公園をめざし、地域づくりを大切に、花や公園のイメージを創出、期待と不安のいっぱいの中で出発した『せら夢公園』が早くも一周年を迎えた。当時、町職員であった公園室長を施設長にすえ、万全の体制で臨んだ。しかも、文句なしの切り札の人材でスタートし、たのもしさも感じた。本人にとっては現役期間を残し退職、世羅町という大きな看板を背負って暗中模索の一年間であったと思う。お客様の対応に追われる施設長に次の年どんな戦略を練っているのか伺ってみた。



足湯館オープン

「この一年間、がむしゃらに働いた。地域の皆様に支えられ、予想を越えての入込客を得た。今後は開園でいただいた起爆効果をあげるため当初のコンセプトを大事にしながらここでしかないもの、独自性を高めた取り組みをし、長く愛していただけるものを作りあげたい。一つは天下第一品の料理であり、天下第一品の地元の特産品、地域のブランドを作りあげたい。今、少しずつ地域の資源も魅力もみえてきた。より以上に全国に情報発信してゆきたい。」と闘志まなまさん。

一方「地域住民の文化・体育活動など、この公園を発信基地として大いに利用して欲しい」と我々にも注文。起業者一年生ではない確かな手応えを感じながら、誠実に一生懸命努力している姿に頭の下がる思い、心の中であついあついエールを送り、誇りを持って公園になってくれる事を祈りながら公園を後にしました。

### あなたの会社の広告募集

『議会だより』へあなたの会社（事業所）の広告を出してみませんか？

民間企業等の宣伝を行い、町の新たな財源を確保し、活性化のため、広告を募集します。

ぜひ、ご活用ください。

#### ●問い合わせ

議会事務局 0847-22-4511

#### ●広告掲載料

大きさ	掲載料
4.5cm×8.5cm	4,000円／1回

### 議会を傍聴してみませんか

次回定例会は6月です

無線放送でお知らせします。

### 編集後記

野山は花が咲き乱れ、田植準備の時期となりました。さて、3月議会は新年度予算審議を行いました。予算が昨年と比較して住民満足度がどう向上したか。福祉や生活を守り、安心安全の達成度は、行財政改革推進プランに沿ったものか、将来を見据えた内容か、議員全員が住民の立場で審議を深めました。要は政策を最終的に決定し、そ

の政策を中心に行う執行機関の行政運営等がすべて適法・適正・公平・効率的、そして民主的になされているか、監視するのが議会であると考えます。

また、開かれた議会、町民から信頼される議会を目指し努力します。

議会だよりは、いつもより読んでいただける広報誌をめざし頑張っています。皆様のご意見をお待ちしています。

(末盛)

#### 議会広報広聴調査 特別委員会

- 委員長／小川信晃
- 副委員長／仙光保喜
- 委員／松本秀治・末盛守田坂進・松浦敬潤

